

# 学級組織の編成とその運営

## ～学級目標達成のための児童生徒の活動～

埼玉県教育局東部教育事務所

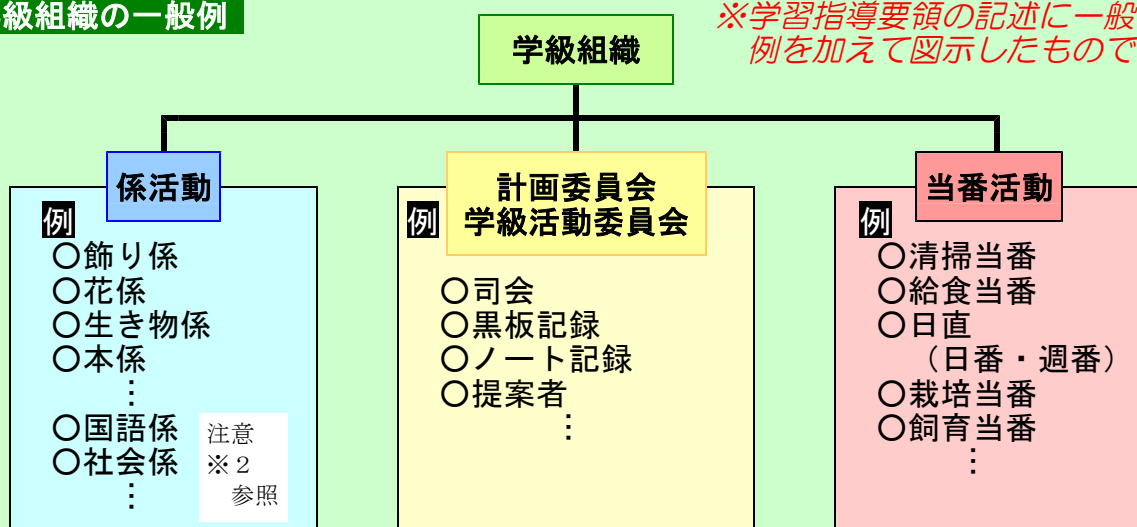
すべて学級担任は、年度当初に学級経営案を作成し、学級目標を達成するために様々な方策によって自身の学級経営を進めていきます。担任教師の学級経営を具体的に反映するものが、係活動を始めとする学級組織です。学級組織での活動を通して、児童生徒は人間関係づくりの大切さを学び、所属集団である学級に貢献・寄与することの喜びを知っていきます。児童生徒に、どのような学級組織をつくらせ、どのように活動を体験させるかは、小・中学生のその後の人格形成にも大きく影響することになります。従って、学級組織の編成とその後の運営の仕方は、学級経営の善し悪しを左右する大変重要なものになると言ってよいでしょう。ここでは、学級組織とその運営についてまとめてみます。



### 1 学級組織には、どのようなものがあるのか

そもそも、学級組織には、どのようなものがあるのでしょうか。小・中学校学習指導要領に記述があるものを挙げてみます（小・中学校学習指導要領解説特別活動編第3章第1節）。

#### 学級組織の一般例



- ※1 計画委員会は小学校学習指導要領に明記されている。同様の組織を中学校では学級活動委員会と称することが一般的である。
- ※2 教科担任制の中学校では、教科連絡を係活動が担っている場合が多く見られる。学習指導要領による係活動のねらい（子どもの力で学級生活を豊かにする）からすれば、教師の単なる連絡係としてではなく、生徒自らが学級の学習生活の向上を目指した取組を行うなど、生徒が自主的に運営する形が望ましい。
- ※3 委員会活動（小学校の代表委員会・委員会活動、中学校の各種の委員会）は、児童会・生徒会活動の組織であって、学級の組織ではない。しかし、その活動内容は、学級活動や学校行事と密接なつながりがあるため、必要に応じて学級を活動の場とすることがある。

## ◎学級組織

### ▶計画委員会（小学校）、学級活動委員会（中学校）

話し合い活動（学級会）が円滑に行われるための計画や準備等を行うために編成される。司会、黒板記録、ノート記録などを担当する児童生徒で編成されることが多い。

### ▶係活動

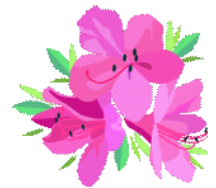
児童生徒が学級内の仕事を分担処理するために、自分たちで話し合っって係の組織をつくり、全員でいくつかの係に分かれて自主的に行う活動。

### ▶当番活動

日々の学級や学校の生活を維持するために取り組む輪番制によって学級成員全員が経験する活動。清掃、給食、日直、飼育、栽培などが挙げられる。

## 2 それぞれの学級組織のねらいを確認する

学級組織それぞれのねらいや教育的な意義を押さえておきましょう。



### 計画委員会、学級活動委員会

計画委員会（小学校）、学級活動委員会（中学校）は、学級活動における話し合い活動（学級会）が円滑に行われるようにするために設定するもので、学級活動を児童生徒の自発的、自治的な活動とするために不可欠な活動組織です。

小・中学校学習指導要領の学級活動の活動内容（1）に「学級内の組織づくり」が例示されているのは、児童生徒が主体となって話し合い活動を展開できるように、計画委員会や学級活動委員会の組織を充実させたいとの趣旨があるからです。

### 係活動

係活動は、児童生徒が学級内の仕事を分担処理するために、自分たちで話し合っって係の組織をつくったり、全員でいくつかの係に分かれて自主的に行ったりする活動であり、子どもたち自身の力で学級生活をより豊かにすることをねらいとしています。

### 当番活動

当番活動は、児童生徒が学級生活を送る上で必要不可欠な様々な仕事を分担して活動するものです。子どもたちの責任感を育てるとともに、一人一人に自己有用感や学級への所属感をもたせることをねらいとしています。

## 3 組織づくりの手順と運営を考える

それぞれの組織づくりの手順と組織の運営について考えてみましょう。

### 計画委員会、学級活動委員会

（1）学級全員を5、6人程度のグループ（生活班など）の数グループに分ける

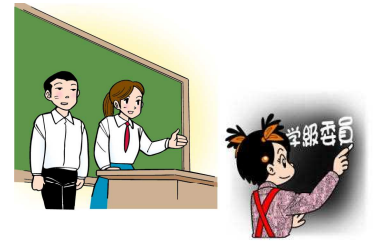
※輪番制で学級の全グループに司会進行を経験させることを目標とします。

※発達段階や学校・学年・学級の児童生徒の実態に応じたグループ編成を行います。

（2）グループ内で学級活動時の各自の役割を分担する

### 【役割分担】（一般的な例）

司会 ----- 当日の司会進行、指名、円滑な運営  
黒板記録 ---- 意見の板書、整理、決定事項の明確化  
ノート記録 -- 板書された意見の記録、決定事項の確認  
提案者 ----- 問題を明確にする資料の作成、提案発表



### （3）教師と委員のメンバーで活動の計画を立てる

#### 【手順】

- ①議題の収集（議題ポスト、学級日誌、アンケート等）
- ②議題の整理と決定（提案された問題の内容整理と議題決定）
- ③活動計画の作成（話し合い活動の手順の検討）



### （4）本時の話し合い活動を進行する

【話し合い活動の手順】 ※学級活動の活動内容（1）の基本的な流れとなります。

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1 はじめの言葉          | 5 話し合いの内容、順序の確認 |
| 2 計画委員（学級活動委員）の紹介 | 6 話し合い          |
| 3 議題の確認           | 7 決まったことの発表     |
| 4 提案理由の説明         | 8 先生の話          |
| 5 話し合いの内容、順序の確認   | 9 おわりの言葉        |

### （5）活動を振り返り、今後に生かす

#### 【手順】

- ①感想のまとめ（学級活動カード等）
- ②次回の話し合い活動に向けた課題の確認

## 係活動

（1）係活動の特質を確認する ※係活動と当番活動の特質を確認します。

（2）学級を豊かにする係を設定する

※学級生活を豊かにし、自分たちの力で実践できる活動を出し合います。  
※活動内容と係の数などを考慮し、学級に必要な係を全員で設定します。

（3）各係に必要なと思われる概ねの人数を設定する

※活動内容に沿って、各係に概ね必要と思われる人数を設定します。  
※児童生徒の希望を優先し、所属を決定していく段階で人数を調整します。

（4）各係への所属を決定する

※児童生徒の希望を考慮しつつ、譲り合ったり、活動を分担したりするなど工夫して決定します。

（5）活動計画を立案して活動する

※係ごとに活動内容、活動日、めあて等を決めて活動計画を立案します。

#### 【活動内容例】

小学校（低学年）▶本がかり、花がかり、生き物がかり、ボールがかり…  
（中学年）▶学級文庫係、新聞係、歌係、お楽しみ会係、飼育係…  
（高学年）▶図書係、レクリエーション係、新聞係、飼育栽培係…  
中学校 ▶教科係（<sup>※注</sup>国語係、社会係…）、飼育栽培係、掲示係…



※中学校で教科係を設定する場合は、学習指導要領が示す係活動の趣旨を考慮し、それぞれの教科において生徒の学習生活を豊かにする取組を行うなど、自主的な活動運営となるように配慮する。 ※学習生活を豊かにする取組の在り方を考えておく必要があります。

## 当番活動

(1) **当番活動の特質を確認する** ※係活動と当番活動の特質を確認します。

※全員で役割分担し、自主的に活動する体験の場として当番活動をとらえさせます。



(2) **学級生活を維持し、運営するための当番を設定する**

※学校の計画に従って、学級担任が中心となって必要な当番を設定します。

※名簿順、生活班、座席配置等により、児童生徒全員が輪番制で活動できるようにする。

(3) **設定された当番の中での役割分担を決める**

※当番活動ごと（日直、清掃、給食、その他）に当番内の児童生徒一人一人の役割を決める。



(4) **活動計画に従って活動を行う**

※学校（学級担任）が示す活動計画、輪番制（ローテーション）に従って、活動を行う。

**ポイント** 係活動と当番活動の教育的意義、特質等の確認をしましょう！

### 【係活動と当番活動の相違】

	係活動	当番活動
特質	○集団生活の向上発展を目指す児童生徒の自発的、自治的な活動	○集団生活を維持し、運営するための計画的な活動
活動内容	●学級の生活をより楽しく豊かにするために、児童生徒自身が生活の中から見付け出し、創り出す活動 ●児童生徒が話し合いによって計画し、実施していく仕事で、創意工夫の余地が多い活動 〔例〕本係、生き物係、新聞係、図書係など	●よりよい学級の生活を送るために、必要な仕事 ●年間を通して仕事の内容や方法、時間などが決められていて、どのグループでも同じ成果が求められる活動 〔例〕日直、清掃、給食、その他
設置・分担	①あるとよいと思う係を話し合い活動（学級会）で話し合っ決めて。 ②決まった係の分担を決める。 ③原則的（入学当初以外）に、係のグループは、一定期間固定して行う。	①学校の計画に従って、学級担任が中心となって決める。 ②名簿や座席の順番で決める。 ③全員が輪番制で行う。
評価	協力する過程を重視するとともに、自発的、自治的な活動になっているかどうか、工夫して活動できているかどうかを評価する。	自主的な活動として、活動の過程を見る必要もあるが、活動の成果を重視して評価する。



学級経営とは、文字通り「学級を経営すること」です。年度当初につくった学級組織を、年間を通していかに機能させるかが、毎年の学級経営の重要なポイントとなります。

学級組織それぞれの教育的意義や特質を踏まえて、活動をさせる上での留意点を確認しながら、学級目標達成のための活動を行っていきましょう！